

(4) 審査基準について

1. カテゴリー制

審査にはカテゴリー制を設けております。各参加チームは各カテゴリーに分けられ、カテゴリーごとに審査を受けま

◇ 各カテゴリーの設置目的

- ・ カテゴリー1 えひめYOSAKOI祭りの最高位チームの決定、及び各チームの演舞技術の向上。
- ・ カテゴリー2 今後、カテゴリー1を目指すチームの受け皿となるカテゴリー演舞を競技ではなく純粋に楽しむチームが出演し、祭り本来の楽しさを周知する。
- ・ カテゴリー3 将来、えひめYOSAKOI祭りを支えるチームの育成

◇ 各カテゴリーの出場条件

カテゴリー1	・ 高知よさこい祭り出場経験チーム
	・ オリジナル曲使用チーム
	・ 上記の2項目の何れかを満たし且つカテゴリー1の審査基準水準点以上のチーム (但し今年度は新審査基準導入が初めてであるので来年度からの判断とする。)
カテゴリー2	・ 前年度のカテゴリー2の金賞・銀賞のチーム。但しカテゴリー1の審査基準水準点以上のチームに限る。 (但し今年度はカテゴリー1の導入が初めてであるので来年度からの判断とする。)
	・ 既存の総踊り曲又は振興会が提供するレンタル曲を使用する一般・企業チーム
カテゴリー3	・ カテゴリー1の審査基準水準点以下のチーム (但し今年度は新審査基準導入が初めてであるので来年度からの判断とする。)
カテゴリー3	・ ジュニアチームにエントリーのチーム

2. 審査項目

◇ 演舞技能点

- ・ 個人技能点
 - ・ 審査項目① 踊り手一人ひとりの表現力を審査 (10点満点)
 - ・ 審査項目② 踊り手一人ひとりの演舞能力を審査 (10点満点)
- ・ 群舞技能点
 - ・ 審査項目③ 踊り子全員の演舞が揃っているかを審査 (10点満点)
- ・ 構成技能点
 - ・ 審査項目④ 踊り全体の構成のアイデア・創意工夫を審査 (10点満点)
 - ・ 審査項目⑤ 踊り全体の構成の完成度を審査 (10点満点)
- ・ 鳴子技能点
 - ・ 審査項目⑥ 鳴子の鳴らし方、持ち方を審査 (10点満点)
 - ・ 審査項目⑦ 鳴子の鳴らすタイミング、楽曲との調和を審査 (10点満点)

◇ 創作技能点

- ・ 作品点
 - ・ 審査項目⑧ 作品全体の独創性、オリジナリティーを審査 (10点満点)
 - ・ 審査項目⑨ 作品とテーマの融和、メッセージ性を審査 (10点満点)
- ・ アイテム点
 - ・ 審査項目⑩ 楽曲(テーマとの融和、オリジナリティー)を審査 (10点満点)
※カテゴリー1のみ審査
 - ・ 審査項目⑪ 衣装(テーマとの融和、オリジナリティー)を審査 (10点満点)

◇ エネルギー点

- ・ 心の表現力点
 - ・ 審査項目⑫ 表情・笑顔や掛け声・勢いから感じる印象度を審査 (10点満点)
 - ・ 審査項目⑬ マナー全般の印象度を審査 (10点満点)
(入退場や開始、終了時の礼儀等)

※ 以上の3項目(大項目)、13審査項目の合計点130点満点で審査を行います。(カテゴリー2、3は120点満点)

※ 2009年は審査員8名の合計点1040点満点で順位を決定します。(カテゴリー2、3は960点満点)

3. 加点・減点

◇ 人数による加点及び減点

チームの総合人数が50人以上のチームは総合点に3点加点されます。また、人数の20人以下のチームは3点減点されます。

◇ 鳴子点に関する減点

- ◇ 鳴子を持っている人数が踊り子の7割に満たないチームは2点減点となります。
- ◇ 鳴子を持っている踊り子が、演舞時間の半分以上、鳴子を鳴らさずに、腰に挿したりなどして手踊りなどで演舞するチームも2点減点となります。 ※なるべく鳴子をもつ踊り子は鳴子を活かした演舞を心掛けてください

4. 審査基準水準点

カテゴリー1に入る権利を持つことが出来る審査基準水準点は審査員の平均点80点以上です。2009年においては8名の審査員ですので、合計点640点以上となります。これはカテゴリー2、3の場合も同じで

5. 賞について

カテゴリー1	大賞			衣装賞
	金賞	銀賞	高知よさこい祭り振興会会長賞	
カテゴリー2	金賞	銀賞	銅賞	
カテゴリー3	金賞	銀賞	銅賞	

◇ 大賞

- ・ えひめYOSAKOI祭りの大賞はカテゴリー1のチームの中の総合得点の一番高いチームとする。但し、総合得点が同得点の場合は演舞技能点の高いチームが大賞とする。それでも同点の場合はそのチームに高い点を与えた審査員の数の多い方とする。

◇ 金賞、銀賞、銅賞

- ・ カテゴリー1については、1番高い得点のチームは大賞となるので、カテゴリー1では2番目に得点の高いチームが金賞となり、銀賞3番、銅賞は高知よさこい祭り振興会会長賞とし4番となる。
- ・ カテゴリー2、カテゴリー3については各カテゴリーで1番得点の高いチームは金賞、続いて銀賞、銅賞となる。

◇ 衣装賞

- ・ 衣装賞は創作技能のアイテム点における衣装の項目で1番点の高かったチーム(ただし大賞を除く)に与える

6. 審査員

◇ 審査員名(各会場2名の審査員)

競演場名	審査員名	
常磐町競演場	大洲市長	大森 隆雄
	J@m/JOY POP 代表	東 あずさ
新町競演場	大洲商工会議所会頭	井関 和彦
	PUMP UP代表(ダンスインストラクター)	KATO(ケイト)
アクトピア前競演場	高知よさこい祭り振興会	未定
	高知よさこい祭り振付師	時久 紀恵
緑地公園特設会場競演場	高知市観光協会専務理事	澤本 彰夫
	DANCE STUDIO MOGA 代表	吉田 千加

◇ 審査場所(各会場の詳しい場所)

競演場名	審査場所
常磐町競演場	大成酒店手前駐車場スペース スタート地点から約70m地点(ゴールに向かって左側)
新町競演場	コスモポリタン中野前スペース スタート地点から約55m地点(ゴールに向かって左側)
アクトピア前競演場	国土交通省敷地内スペース スタート地点から約50m地点(ゴールに向かって右側)
緑地公園特設会場競演場	ステージ正面堤防中段スペース

えひめYOSAKOI祭り2009 審査表

会場名	チーム番号	チーム名	審査員名
常磐町競演場	①-01	ふりがな	

審査項目			○を付けて下さい。(点数に○が無い場合は、基準点の5点とします)										
			低	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	高	
演舞技能点	個人技能点	① 踊り手一人ひとりの表現力	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		② 踊り手一人ひとりの演舞能力	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	群舞技能点	③ 踊り子全員の演舞が揃っているか	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		構成技能点	④ 踊り全体の構成のアイデア・創意工夫	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			⑤ 踊り全体の完成度	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	鳴子技能点	⑥ 鳴子の鳴らし方、持ち方を審査	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		⑦ 鳴子の鳴らすタイミング、楽曲との調和	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
創作技能点	作品点	⑧ 作品全体の独創性、オリジナリティー	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		⑨ 作品とテーマの融和、メッセージ性	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	アイテム点	⑩ 楽曲(テーマとの融和、オリジナリティー)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		⑪ 衣装(テーマとの融和、オリジナリティー)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
エネルギー点	心の表現力点	⑫ 表情・笑顔や掛け声・勢いから感じる印象度	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		⑬ マナー全般(入退場や開始、終了時の礼儀等)の印象度	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10



加点・減点	人数による加点・減点	チームの総合人数が50人以上のチームは3点加点	3	合 計 点	※係の者が集計致します。
		チームの総合人数が20人以下のチームは3点減点	-3		
	鳴子点に関する減点	鳴子を持っている人数が7割以下のチームは2点減点	-2		
		演舞時間の半分以上、鳴子を鳴らさないチームは2点減点	-2		

〈 7 〉